



発行所 学習院大学新聞社 千171-8588 東京都豊島区 目白1丁目5番1号 黎明会館316号室 発行人:江刺家けいと 編集人:小関 圭祐 年間500円

BOOKS KINOKUNIYA 紀伊國屋書店 学習院大学ブックセンター 西2号館1階 営業時間 10-17時 ☎03-5953-4420

2 3 学習院大学へようこそ 学習院大学の歴史・大 学生生活・資格・空コマの すこし方・校舎紹介・他

4 大学生生活の すゝめ 大学生生活紹介・目白飲食 店紹介コラム・他



学習院大学新聞社



@gakushuinpress 一緒に新聞を作りませんか? 新入部員随時募集! 気軽に follow me!



本学OGインタビュー

衆議院議員・文部科学大臣 なが おか けい こ 永岡 桂子さん

今と昔の 学習院

自身の経験を 未来へ

女子中等科・高等科、本学の出身である永岡氏。在学時の学習院はどのような様子であったのだろうか。当時について話を伺った。永岡氏は1976年から1978年に本学に在学。当時が学内でデモ隊を見かけることがあったという。5、6人が横一列になつて「〇〇反対!」と主張しながら行進している様子を遠巻きに見ていたそう。学生運動が盛んな時期であったからその光景であった。また、今はなきピラミッド校舎が強く印象に残っているという。ピラミッド校舎は1965年に竣工し、2008年に解体され、中央教育研究棟にある「ピラ校」模型

「ピラ校」の名前で親しまれていた。在学時、永岡氏は授業で校舎を使うような様子であったのだろうか。当時について話を伺った。永岡氏は1976年から1978年に本学に在学。当時が学内でデモ隊を見かけることがあったという。5、6人が横一列になつて「〇〇反対!」と主張しながら行進している様子を遠巻きに見ていたそう。学生運動が盛んな時期であったからその光景であった。また、今はなきピラミッド校舎が強く印象に残っているという。ピラミッド校舎は1965年に竣工し、2008年に解体され、中央教育研究棟にある「ピラ校」模型

「少くとも負担が減れば、という思いを抱いてはいるのだと思う。そのことを誇ってほしい」と。さらに、4年間の自分で好きなことを見つけてほしいと話した。永岡氏は「長年の経験からしても好きなことではなければ頑張ることは難しい。好きなことには生懸命になり、これからの日本を引っ張っていく存在になってほしい」と熱語。

お忙しい時期にも関わらず、取材を快く受けてくださった永岡氏。今ある環境への感謝を忘れず、残りの学生生活を有意義に過ごしてほしい。(友)

文科省の大臣室に入ると、よつこそと満面の笑みを浮かべた永岡氏を出迎えた。笑顔を見せたのは、本学のOGである永岡桂子文部科学相。永岡文科相は女子中等科に入学後、女子高等科を経て、1976年、本学の法学部を卒業した。自身の大学生活については、勉強以上にサークル活動に力を入れていると話した。在学時はサークル活動のデニスに熱中し、冬の合宿ではスキーも楽しんだ。サークルの雰囲気について「入部したときは創部して間もない頃で、厳しい活動もなく楽しく過ごせた」と笑顔で話した。

「母としての経験 今につながる」 自民党公認で茨城7区から出馬。小選挙区では相手候補に敗れるも比例復活で初当選した。衆参両院の女性議員の面々を見ると、元官僚や地方議員、芸能界出身など、当選前は社会に出て働いていた人が多い。しかし、永岡氏は当選前、専業主婦だった。政治家の妻であったことを除き、政治経験はほとんどない。女性議員の経験が長く、女性議員の中では稀有な存在だ。永岡氏に衆院選に出馬した理由を尋ねると、「女性の国会議員が少ないこと、一般の女性の声が国政に反映されていないと感じていた」と話した。

永岡氏は夫の永岡洋治衆議院議員(当時)が急逝した直後の2005年の衆院選は、男女雇用機会均等法の制定前だった。女性の同僚の多くは社会に出て働くことなく、家事手伝いを終えて見合い結婚したという。「専業主婦として夫と暮らし、子どもを育てている」と自身の専業主婦時代を振り返った。夫・洋治氏は政治家を志す前、農林水産省の官僚として働いていた。結婚して人の娘を設けるが、育児には苦勞が絶えなかった。夫は0時を過ぎても帰宅しない。娘が生まれた後も子育てに全く協力してくれなかった。幼稚園の送り迎えなどすべてがワンオペだった。さらに大変だったのは夫の政治活動のサポートだ。2003年に初当選した茨城7区の補選で初当選したものの、当選前に2度の選挙で敗れている。

農水省の官僚を辞め、1996年の衆院選に出馬したが落選。次の2000年の衆院選でも落選した。選挙にかかる費用だけで、娘の学費もかさみ家計は火の車になっていた。そんな苦しい状況をなんとか乗り越えたいと先んじて働いてきた。洋治氏の急逝であったが、失意に暮れる日々の中、ある人物に掛けた電話が、その後の人生を大きく変えることになる。夫の急逝後、周りから後を継いで出馬しないかという誘いを受けていた。どうするか悩んだ末、自民党の先輩政治家の妻に電話を掛けた。永岡氏は出馬について悩んでいると話すと、「あなた、ご主人が何をやってきたか見たいですよ」と語りかけられた。その言葉に背中を押され、衆院選に出馬する気持ちを固めることになる。

出馬を決断した時、「もともと私は夫を見てきた。しかし、夫は政治家として、私は専業主婦として経験を積んできた。娘の学費もかさみ家計は火の車になっていた。そんな苦しい状況をなんとか乗り越えたいと先んじて働いてきた。洋治氏の急逝であったが、失意に暮れる日々の中、ある人物に掛けた電話が、その後の人生を大きく変えることになる。夫の急逝後、周りから後を継いで出馬しないかという誘いを受けていた。どうするか悩んだ末、自民党の先輩政治家の妻に電話を掛けた。永岡氏は出馬について悩んでいると話すと、「あなた、ご主人が何をやってきたか見たいですよ」と語りかけられた。その言葉に背中を押され、衆院選に出馬する気持ちを固めることになる。

永岡氏が文科相に就任してから変わったことを伺うと、以前の生活との変化について教えてくれた。大臣就任前は朝8時から自民党の国会議員が参加する、「部会」に出席していた。部会とは、各分野の政策を党内で議論する場である。国会開会中はもちろん、閉会中も活発に議論が行われる。永岡氏は部会について「取り上げられるかどうかは別の話だが、さまざまなことをきちんと述べる場がある」と重要な意味を感じている。しかし、文科相になってからは、国会開会中は部会には参加しなくなった。というのも、朝9時から始まる予算委員会や本会議、文科委員会の準備が必要になったのだ。前日までに与野党議員からの質問内容を聞き、しっかりと回答ができるように準備を重ねる。国会開会中は文科省の職員も含め大変忙しく、寝る間も惜んで回答の準備に取り組んでいるという。

次に、日本の教育費の課題について尋ねた。大学の授業料は、1943年に創設された財団法人大日



取材 江刺家けいと 小関圭祐 桑野瑞綺 吉越友香 伊藤寧々 茂泉玲奈 菅原彩未 上地璃空 協力 文部科学省 永岡桂子古河事務所 PROFILE 東京都出身。1976年に本学法学部卒業。2005年に衆院選に出馬、初当選し、現在、6期目。文科副大臣や自民党副幹事長などを経て、昨年8月に文科相に就任し、自身初の入閣を果たす。

新入生の皆さん、入学おめでとう! 「桜友会」は皆さんを応援しています。 「桜友会」は学習院大学、学習院女子大学ほか学習院各学校の卒業生全員、約13万人による同窓会組織です。大正10年(1921)の設立2から102年の歴史があります。目白キャンパスの正門近くの「学習院創立百周年記念会館」2階に事務局があります。入学早々、同窓会というと、あまりピンと来ないかもしれませんが、課外活動のサポートや就職支援などを通じて、皆さんのこれからの学生生活の中で深い関わりがあります。新たな学習院の歴史を私たちと一緒に作りましょう。 一般社団法人 学習院桜友会 TEL. 03-3988-3288 FAX. 03-3988-3853 ホームページ http://www.gakushuin-ouyukai.jp/

各方面で活躍中の先輩が4年間の経験を語る 第14回 新入生サポートセミナー 4月10日(月) 13時30分~15時30分 開場13時 会場: 西2号館201教室 ●定員220名。申し込みが必要です。応募者多数の場合は申し込み先着順とさせていただきます。 ●当日も席に余裕のあるかぎり受付いたしますので、直接会場までお越しください。 申込み方法: 桜友会サイトで申込み 携帯電話からは右のQRコードをご利用ください。 テーマ: 「学習院の学生生活」 主催: 学習院同窓会 桜友会 パネリスト: 増田 哲 (1998年 経済学部経済学科卒) (株) 電通 BX デザイン局 GM (部長) 近藤 祥子 (2014年 文学部哲学科卒) フリーアナウンサー 太田 峻介 (2014年 法学部政治学科卒) 丸紅(株) 丸紅航空宇宙・防衛事業部 有馬和歌子 (2021年 文学部哲学学科卒) 日本舞踊教室 子供舞踊代表 (当日変更になる場合もありますのでご了承ください) (昭和49年 法学部卒・フェリス学院) 学校法人学習院フェリス、元講義テレビ解説委員長 司会: 岩田 公雄 写真は前回のセミナーです 申込み先 https://www.gakushuin-ouyukai.jp/info/propose/seminar/

目白の杜で学ぶ

利用可能なITツールが充実しており、平日通学が容易である。また、授業はオンラインでも受けられる。また、図書館が充実しており、研究資料が豊富にある。また、学生生活も充実している。また、学生生活も充実している。また、学生生活も充実している。

京都で生きた 学習院

本学は京都府京都市にあり、その歴史は古く、1862年に創立された。京都の文化や歴史を学ぶには最適な場所である。また、学生生活も充実している。また、学生生活も充実している。また、学生生活も充実している。



学習院御用掛を務めた桂

学習院大学で 実りの多い一年に

本学の一年間は、学生生活が充実している。また、学生生活も充実している。また、学生生活も充実している。また、学生生活も充実している。

4月3日	入学式		
4月12日	授業開始		
5月15日	開学記念日		
7月25日	31日	学期末試験	
8月1日	1日	夏休み	
9月14日	14日	夏休み	
10月20日	20日	夏休み	
11月2日	2日	夏休み	
11月2日	6日	大学祭	
12月24日	24日	1月9日	冬休み
1月23日	23日	31日	学年末試験
2月1日	1日	3月31日	春休み

知と出会える 場所

本学の図書館は、最新のITツールを導入し、読書環境を整えている。また、学生生活も充実している。また、学生生活も充実している。また、学生生活も充実している。

他大学の授業で 新たな発見を

本学は他大学の授業に参加し、新たな発見を得た。また、学生生活も充実している。また、学生生活も充実している。また、学生生活も充実している。

新たな出発



ようこそ学習院へ

空きコマ どう過ごす?

本学の空きコマは、学生生活に役立つ。また、学生生活も充実している。また、学生生活も充実している。また、学生生活も充実している。

飛び出せ日本! 留学に行こう!

本学は海外留学をサポートしている。また、学生生活も充実している。また、学生生活も充実している。また、学生生活も充実している。

大学生のうちに 資格取得を

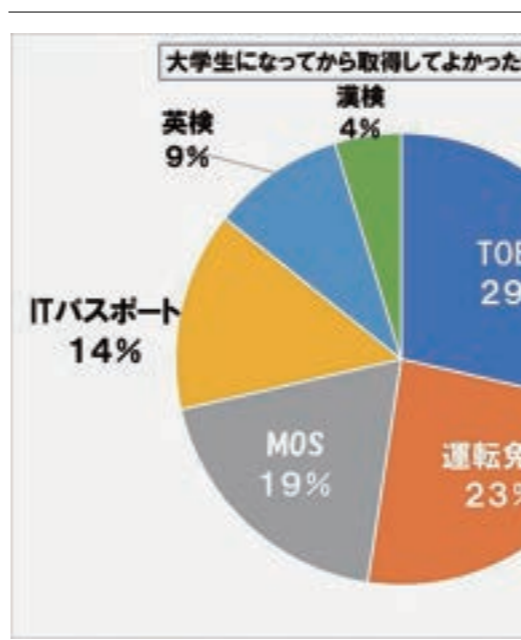
本学は大学生のうちに資格取得を推奨している。また、学生生活も充実している。また、学生生活も充実している。また、学生生活も充実している。

大学で広げる 人との繋がり

本学は大学で人との繋がりを広げることを推奨している。また、学生生活も充実している。また、学生生活も充実している。また、学生生活も充実している。

本学の有形遺産

本学には多くの有形遺産があり、その歴史を伝える役割を果たしている。また、学生生活も充実している。また、学生生活も充実している。また、学生生活も充実している。



あなたの言葉を紙面に載せてみませんか? 学習院大学新聞社

フォローしてください! Twitter Instagram

新商品 【Bicerin コーヒーサンド】 8個人 ¥3,996 (税込)

上品な苦味のコーヒークリームと芳醇な香りのラムレーズンを香ばしげに焼き上げたクッキーで贅沢にサンドいたしました。創業1763年イタリア・トリノ最古のカフェ「Bicerin」がティータムなど「ひとときの贅沢」をお過ごし頂くためのお菓子としてこだわり上げたコーヒーサンドです。

大学生活の道標

私と新聞 —今とこれから—

昨年4月に入学してから、早くも1年が経った。この1年を振り返って真つ先に思い出すのは、この学習院大学新聞社での活動だ。

新聞社の存在を初めて知ったのは4月に入社して、学生センターのオリエンテーションで貰った新入生歓迎委員会が発行する冊子「黎明」を読んだときだ。この新聞社での1年間、文化祭のライブの取材、本学の卒業生である現職関係のインタビューといった機会に恵まれた。また自分が関心のある分野について、何度も署名入りで記事を書くことが許された。筆が進むのが遅いのが悩みの一つだが、自分の名前を入れた記事が掲載できることが嬉しい。学内での人の交流が少ない中、得られるものは大きかった。

昨年4月から籍を置き、取材から校正、配布にいたるまで様々な活動をしてきた。そうした日々の中で新聞社のこれからを考えたい。

この新聞は大学側からの予算と本学の学生全員からの年間500円の購読料を以て運営している。全学から貴重な購読料を頂戴していることを踏まえる、学生に対する責任は他の課外活動団体とは桁違いに重い。

「血洗いの池」での邂逅

「ひろい視野、たくましい創造力、ゆたかな感受性、これは本学の教育目標として掲げられている。学生としての個性を尊重しつつ、社会で役に立つ者を大きく伸ばしたかたに本学に申し分ないものだ。」

筆者は本学で2年間過ごして、多くの学生と接してきて、本学は今まで以上に、そして卒業後を見据えてもたくさんの自由な時間と選択肢がある。その中に

自由を味方に 未知へ飛びこむ

煩わしい校則や制服から解放され、自由の幅が広がった大学生だ。一般的に見て大学生のイメージは、大人になりかけの暇人。自分の行動に対する責任は伴いつつも、自由な時間が圧倒的に増える。覚えたての運転でドライブに出かけ、カラオケでは友人たちと夜を明かし、初めてのお酒に酔えば見たことのない自分と出会う。

○自由と不安の狭間

そのような大学生らしい生活の中で、日に日に増していくのが、将来への不安だ。自分ほどのような大人になりたいのか? このまま大人になりたいのか? どうだろうか? このような自問

時には、大きな責任が伴う。顔の見えない読者との信頼関係を築いていくよう努めなければならぬ。人が組織を作り、組織が人を育てる。だからこそ、人が組織を支えられる。夢は広がるが、立ちふさがる壁もまた大きい。だが、夢がなければ、希望がない。壁を壊し、荒波の中をともに進んでくれる新入生に会いたら嬉しい。(上地瑞空)

で、決して一つの視点から目標をやりたいたいことを決めてしまおう。それはもうない。大学での生活をより身近に感じたい。教育目標の一つの道しるべになるのではないだろうか。

キャンパス内にある「血洗いの池」という場所がある。そこは都内から別離された世界のような自然が広がっている。コロナ禍で大学という未知の世界に飛び立ち、不安しかかった時に初めてそこに立ち止まった。見る角度によってその物の印象が大きく変わり、感じ方も変わることを知った。

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

大学周辺のおすすめ飲食店紹介

この春から大学生になった学生も、既に本学の学生であつてもあまり見かけない。居酒屋だ。店名の「八十二」は、生時八十二の幸せと割の発見を街の方々へ提供する「こども」ではない。どちらでも柔らかく、溶けたチーズとチヌーが肉に絡まってとても繊細な味になる。



「店舗情報」
肉の八十二(食堂)二ノ木ハニシヨクトウ 東京都豊島区目黒三丁目三十三番二階
電話:03-6908-2313
JR目黒駅より徒歩二分

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

「この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。この授業はあと3回休める。」

学習院さくらアカデミー MOS講座

パソコンの苦手克服

申し込み・お問い合わせ

- お電話でのお申し込み 学習院さくらアカデミー(03-5992-1040)
- QRコードでのお申し込み
- LINEでのお問合せ @169kbsiq 「ラビットLINEトレーナー」

学習院輔仁会雑誌編集委員会

私たち輔仁会雑誌編集委員会は130年の歴史を持つ学習院の機関誌「輔仁会雑誌」を年に1回発行しています!

書くことが好きな人、文章を読むことが好きな人、新しいことに挑戦したい人は入部して私たちと一緒に雑誌作りをしてみませんか?

↑公式SNSはこちらから